

わかり易いプレゼンファイルを作るスキルは研究者の生命線

研究を始めてしばらく時間が経過すると、それまでの研究の成果をわかりやすく、論理的に説明することが求められます。それは、研究室でのセミナーや仲間内のワークショップであったり、学会やシンポジウムでの発表であったり、まったく専門分野の異なる研究者や一般市民対象の発表会や講演会であったり、様々な発表の場を、本人が希望する・しないを問わず経験することになります。なぜならば、その発表（プレゼンテーション）そのものが、研究活動の1部となっているからです。また、学生・院生時代はもちろんのこと、研究に携わる職業に就いた時、その成果を報告するためのプレゼンファイルを、日常の多忙な業務の傍らで、限られた時間に作成することが求められます。その時に、わかり易いプレゼンファイルを素早く作るスキルをもっていることは、研究の成果に応じた評価を得るための生命線となります。（穿った見方をすれば、わかり易いプレゼンテーションを行えば、その内容までよく見えてしまうことすら実際にあります。）

本書では、学会発表でわかり易いプレゼンテーションを行うために、単純にプレゼンソフトの使い方の説明に終始するのではなく、必要なハードウェア・ソフトウェアから、プレゼンテーションの全体構成、わかり易い図の作り方、その図を組み込んだスライドの作り方、適切な発表のすすめ方など、プレゼンテーションに必要な広範囲におよぶ情報とスキルを紹介します。それらを全部念頭に入れてプレゼンファイルを作成し、実際に発表することは、最初は「そんなことを言われても、とても気が回らない」と思われるかもしれません。しかしながら、「わかり易いプレゼンファイルを作る」というスキルの感覚を身につけると、今までのものは見るも耐えられないと感じるようになると思います。また、必要な作業工程が日常的なこととして一度頭に入ってしまうと、多少面倒な工程でも半ば反射運動的な作業となり、面倒に感じることはなくなります。それよりも、出来上がったスライドの仕上がりの綺麗さ・分かり易さを求めるようになっていくことに、気づかれることでしょう。本書がその一助となることを願っています。

はじめに	わかり易いプレゼンファイルを作るスキルは 研究者の生命線	011
第1章	プレゼンテーション用のスライドを作るための3つの作業	015
	1-1. テキストを書き込む	017
	1-2. グラフを貼り込む	021
	1-3. 画像を貼り込む	022
	1-4. パソコンは使いやすいノート型	024
第2章	プレゼンファイルの全体構成	025
	2-1. スライドのコマ数	027
	2-2. 各パートで気を付けること	028
	イントロダクション	028
	研究の目的	028
	材料と方法	028
	結果と考察	029
	結果に対する考察	029
	まとめ	029
	謝辞	030
	質問時間	030
第3章	スライドの作り方：テキスト	031
	3-1. ゴシック体のフォントを使う！	033
	3-2. 18ポイント以上のフォントを使う！	034
	3-3. テキストの行間を広げる！	034
	3-4. テキストは見せる！	038

第4章	スライドの作り方：グラフ	041
4-1.	グラフの基本「棒グラフ」のスライドを作る	043
4-2.	比率の変化を「100% 積み上げ棒グラフ」で示す	064
4-3.	折れ線グラフを「散布図（直線とマーカー）」で描く	075
4-4.	周年変化を「折れ線グラフ」で描く	084
4-5.	x と y の相関関係を「散布図」で描く	094
4-6.	よく見かけるグラフの修正点	105
第5章	スライドの作り方：画像	109
5-1.	画像のトリミング	111
	Adobe Photoshop を用いる場合	111
	Windows・ペイントを用いる場合	113
	macOS・プレビューを用いる場合	117
5-2.	画像の補正	121
	Adobe Photoshop を用いる場合	121
	macOS・プレビューを用いる場合	123
5-3.	画像のメモリーサイズと解像度の関係	125
5-4.	画像のプレゼンソフトへの貼り込み	127
5-5.	複数の画像を並べるテクニック	130
第6章	画像化されたパワーポイントのプレゼンファイルの作り方	133
6-1	Windows・パワーポイントの場合	135
6-2	macOS・PowerPoint の場合	137
6-3	macOS・Keynote の場合〈Photoshop を使用する〉	139
6-4	macOS・Keynote の場合〈Photoshop を使用しない〉	144
付録	国際会議におけるプレゼンテーションの準備	149